

## (一般質問)

質問日	令和6年3月11日(月)			質問方式	分割方式		
質問順位	4	会派名	自由民主党浜松	議席番号	32	氏名	倉田 清一
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
<p>1 本市の防災・減災、国土強靱化対策の取り組みについて</p> <p>(1) 住宅の耐震化について</p> <p>(2) 水道管の耐震化・老朽化対策について</p> <p>(3) 橋梁の耐震化・長寿命化対策について</p> <p>(4) 地籍調査の進捗状況について</p> <p>(5) 孤立予想集落への対応について</p>	<p>本年1月1日に発生した能登半島地震は最大震度7を記録し、石川県を中心に甚大な被害があった。他方、本日3月11日は東日本大震災から13年を迎え、南海トラフ巨大地震は今後30年以内に70～80%の確率での発生が懸念されている。</p> <p>そこで、今回の能登半島地震を踏まえ、本市の防災・減災、国土強靱化対策について以下伺う。</p> <p>(1) 全国的には新耐震基準に適合した住宅が約9割だが、家屋倒壊が多かった輪島市・珠洲市は約5割で、建物倒壊による死亡が7割を超えている。能登半島地震後、市民からの相談も多いと聞く。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア 住宅の耐震化に関する相談件数と、地域差も含めた本市の耐震化率及びそれを踏まえた課題を伺う。</p> <p>イ 耐震化の推進に向けた今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 水道管の耐震化と老朽化対策の進捗状況を伺うとともに、その推進に向けた課題と今後の取り組みを伺う。</p> <p>(3) 橋梁の耐震化・長寿命化対策の進捗状況を伺うとともに、その推進に向けた今後の取り組みを伺う。</p> <p>(4) 自然災害の多発や所有者不明土地が増える中、地籍調査の円滑化、迅速化が求められているが、その中で全国の地籍調査の進捗状況は対象地域全体の52%と聞いている。地籍調査の成果は、大規模災害後の早期復旧・復興に不可欠である。</p> <p>そこで、本市の地籍調査の進捗状況と今後の進め方について伺う。</p> <p>(5) 先般、土砂崩れ等の自然災害時に孤立が想定される集落が、市内に54か所あることが報道された。孤立予想集落への本市の対応についての考えを伺う。</p>						<p>井熊都市整備部長</p> <p>内藤水道事業及び下水道事業管理者 伏木土木部長</p> <p>〃</p> <p>石田危機管理監</p>
<p>2 子ども・子育て支援について</p>	<p>保育士の人材確保には保育士の労働環境の改善が必要で、私は令和4年2月定例会の代表質問で、「保育補助者雇上強化事業」を提案した。本市では令和5年度から実施されているが、積極的な活用がされていないと聞いている。また、本市では、静岡県から研修実施機関の指定を受けた浜松民間保育園長会が、保育士等キャリアアップ研修を開催し、浜松地域の保育士等に研修の受講機会を設けているが、十分な研修機会が確保できていな</p>						<p>中野市長</p>

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(1) 保育補助者雇上強化事業について</p> <p>(2) 保育士等キャリアアップ研修について</p> <p>3 高齢者施策について</p> <p>(1) 介護人材の確保に向けた支援事業について</p> <p>(2) 高齢者福祉施設の大規模修繕に伴う改修等の支援制度について</p>	<p>いと聞いている。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 「保育補助者雇上強化事業」の活用状況と、一層の活用に向けた今後の対応を伺う。</p> <p>(2) 保育士等キャリアアップ研修は保育の質の向上や児童の安全・安心の確保、保育士等の処遇改善につながることから、その研修機会を拡充する必要があると思うが、本市の考えを伺う。</p> <p>高齢者福祉施設は地域包括ケアシステムの一翼を担っているが、社会福祉法人が抱える課題は多岐にわたり、介護事業運営が難しい状況が伺える。令和4年2月定例会で介護人材の確保に向けた支援制度と高齢者施設の大規模修繕に伴う支援制度について質問した。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 令和4年2月の代表質問に対して、「介護職員の住宅費負担を軽減することで、働きやすい職場環境を実現し、人材の確保・定着を図る有効な支援と考える。国に補助メニューの追加を働きかけていく。また、外国人介護人材採用に当たっては、都道府県単位で助成制度を設けている事例があり、今後、外国人介護職員の採用支援事業拡充について、調査・研究していく。」との答弁であった。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア 介護職員の宿舍借り上げについて、国への要望活動状況を伺うとともに、本市独自の支援制度を創設する考えはないか伺う。</p> <p>イ 国の議論において、外国人介護人材を受け入れる制度が新たに示されたと聞いている。本市においても、現行制度の拡充や支援制度を創設する考えはないか伺う。</p> <p>(2) 令和4年2月の代表質問に対して、「老朽化した高齢者福祉施設等の改修への対応は全国共通の課題であり、大都市会議において、新たな国庫補助制度の創設を要望している。引き続き他都市の動向を注視するとともに、国への要望を続ける。」との答弁であった。他市の状況と国への要望活動の状況を伺うとともに、本市独自の支援制度を創設する考えはないか伺う。</p>	<p>鈴木健康福祉部長</p>
<p>4 防音校の空調整備について</p>	<p>航空自衛隊浜松基地周辺にあつて、航空機の離発着により影響を受ける学校(通称：防音校)は、国の基地周整備事業の補助を受け、全館空調整備を実施している。本市では14校で整備しているが、設置から20年以上経過し、老朽化が進んでいる学校も多くある。</p> <p>そこで、以下伺う。</p>	<p>奥家学校教育部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>5 地区コミュニティ協議会への支援について</p>	<p>(1) 老朽化した防音校空調の更新をどのように進めるのか。また、設置後、最も年数が経過した学校の一つである湖東中学校の対応について、本市の考えを伺う。</p> <p>(2) 伊佐見小学校の空調は昨年6月にポンプが故障し、レンタルエアコンを設置し対応していると聞く。一刻も早く更新する必要があると思うが、一方で、校舎は建設から50年以上が経過するなど老朽化しており、校地は津波や洪水の浸水が想定される区域でもある。これらを踏まえた伊佐見小学校の空調整備について、本市の考えを伺う。</p> <p>和地地区では、「和地地区コミュニティ協議会」が協働センターの貸し館業務や生涯学習講座の実施を受託するとともに、先般、区再編に伴う地区コミュニティ協議会の認定を受けるなど、協働センターを拠点に活動している。協働センターと同じ屋根の下で、本市と密接に活動する地区コミュニティ協議会への支援は、ソフト事業だけでなく、場合によっては地域活動に資するハード事業の支援も必要と考える。先般、和地コミュニティ協議会から中央区協議会に、協働センター附設体育館に壁面収納折り畳みステージを設置してほしい旨の要望書が提出された。今後、本市と密接に関わる地区コミュニティ協議会に対する本市の支援の考え方を伺う。</p>	<p>新谷市民部長</p>
<p>6 浜松市農村環境改善センターへのエレベーター設置について</p>	<p>浜松市農村環境改善センターは、農業及び農村の健全な発展を期することを目的に昭和55年に建設され、多目的に利用されるホールをはじめ、料理や研修、講座に利用される各種室を備え、地域の方々のふれあいの場となっている。しかしながら、施設の老朽化に加え、ユニバーサル対応が不十分な状態であり、地域も高齢化が急速に進んでいることから、エレベーターを設置していく必要があると考えるが、本市の考えを伺う。</p>	<p>清水農林水産担当部長</p>
<p>7 (都)植松伊左地線について</p>	<p>平成25年度に本市が(都)植松和地線(西山町～伊左地町)の計画廃止案を地域に示してから約10年が経過しているが、未だ(主)館山寺鹿谷線は朝夕の交通渋滞や、狭い道路幅員による交通事故等が多発し、地域住民の安全・安心の確保は喫緊の課題である。また、地域は平成30年度に同区間の整備促進期成同盟会を設立し、同区間の早期事業化を毎年要望するとともに、慢性的な交通渋滞と歩行者等の安全確保に課題を抱える現道(館山寺鹿谷線)の道路環境改善についても要望している。</p> <p>私はかねてから、計画廃止案の機能検証について矛盾点を指摘しているが、現在、パーソントリップ調査が実施され、都市交通マスタープランの策定が進められてい</p>	

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>ると聞いている。 そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 都市交通マスタープランの方向性とスケジュール、 (都)植松伊左地線の見直しに関する本市の考えを伺う。</p> <p>(2) 期成同盟会が要望している現道(舘山寺鹿谷線)の道路環境改善について、本市の考えを伺う。</p>	<p>井熊都市整備 部長 伏木土木部長</p>